

三和の重量シャッター

管理用シャッター / 管理用シャッターCP 電動式

取扱説明書

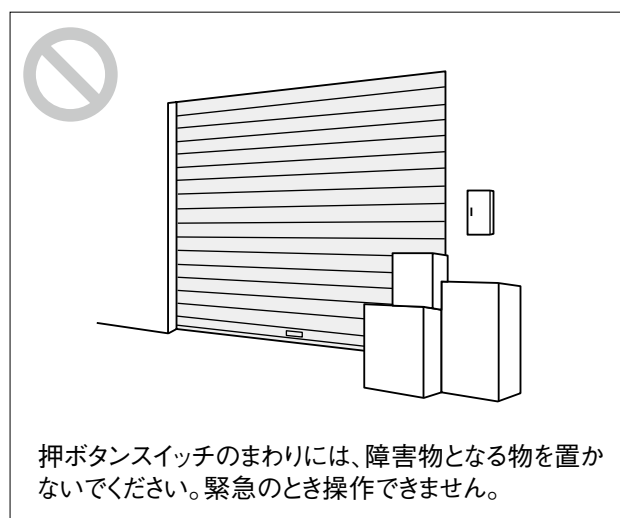


この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。
※建設会社・お施主様へ

この取扱説明書は実際に使用される方へ必ずお渡しください。

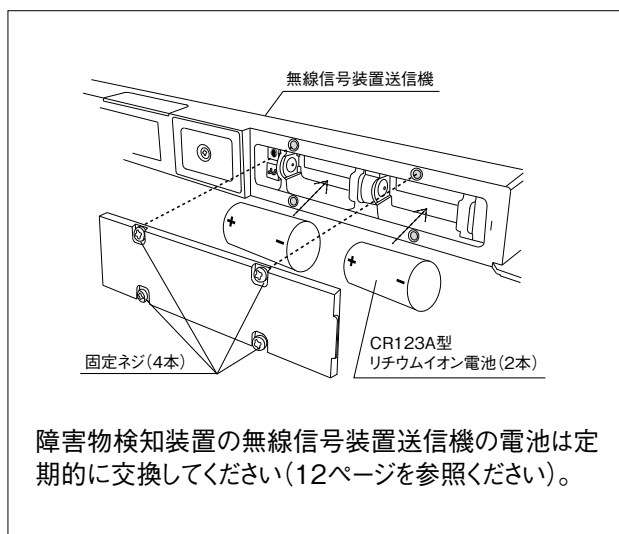
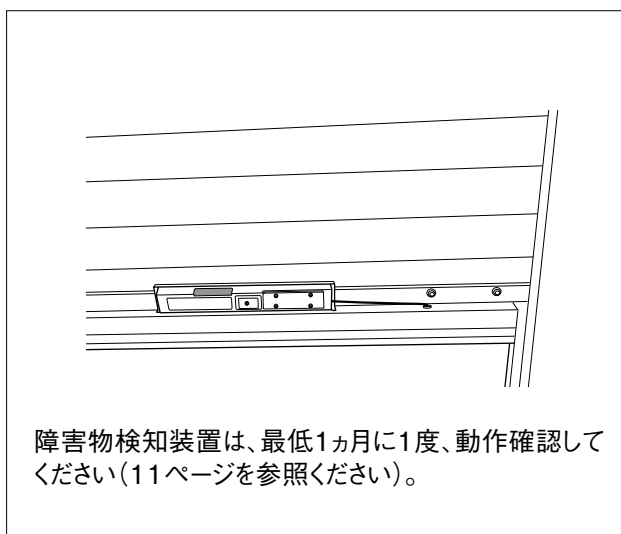
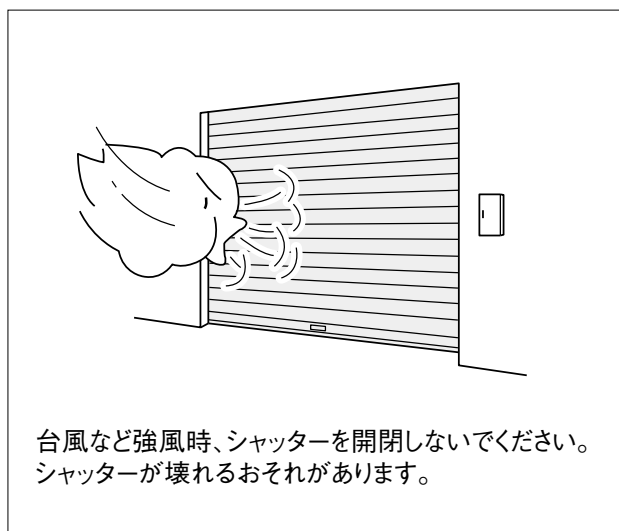
ご使用上の注意

！ 警告： 次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。



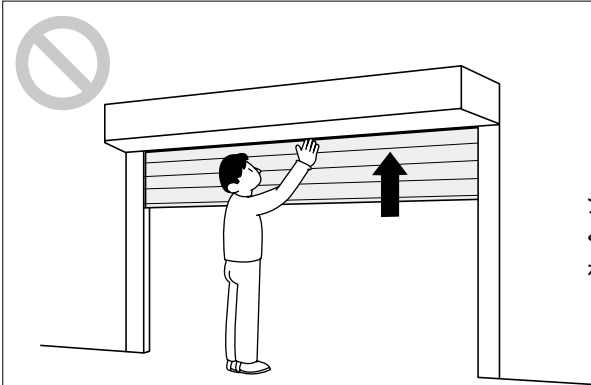
ご使用上の注意

⚠ 注意： 次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。



ご使用上の注意

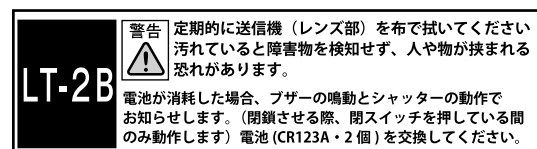
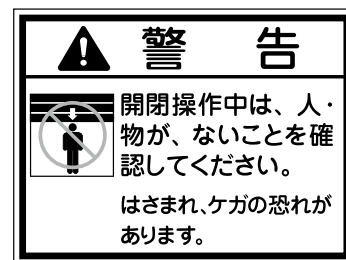
！ 注意： 次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。



シャッター開閉中は、シャッターカーテンに手をふれないでください。シャッターカーテン呑み込み口などのすき間に手をはさむおそれがあります。

本商品では、お客様に特に注意して正しくご使用いただくための「警告ラベル」をスイッチボックスのフタ・無線信号装置送信機に貼り付けています。

十分ご理解のうえご使用ください。



4 操作方法

警告

- シャッター開閉中は、人や車の出入りを絶対におやめください。はさまれると危険です。
- シャッターの開閉が完全に終了するまで離れないでください。緊急時の停止操作ができません。

注意

- シャッターの下や周囲に障害物がないことを確認してから操作してください。
- シャッターの開閉に支障となるような器物を置かないでください。シャッターや器物を破損するおそれがあります。

お願い

シャッターの連続運転はなるべく避けてください。約5分以上運転しますとモータの過熱防止のため、過熱保護装置（サーマル）が働きパネルが停止する場合があります。

●押ボタンスイッチの操作

開放するとき

開放ボタン  を押します。全開すると自動的に止まります。

途中で止めるとき

停止ボタン  を押すと任意の位置で止まります。

閉鎖するとき

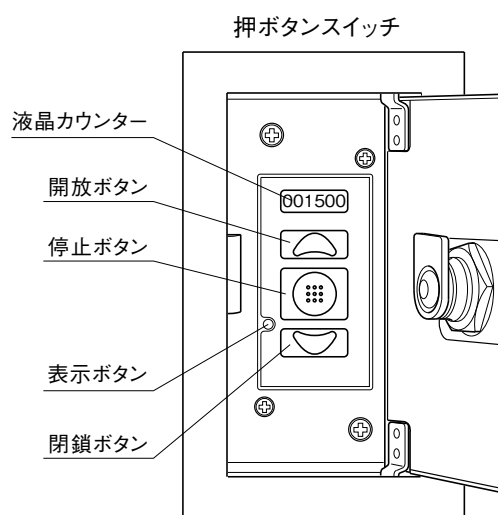
閉鎖ボタン  を押します。全閉すると自動的に止まります。

※閉鎖（開放）途中で開放（閉鎖）する場合は、まず停止ボタン  を押してから開放ボタン  （閉鎖ボタン  ）を押してください。

※2つ以上のボタンを同時に押さないでください。故障の原因になります。

カウンターの表示

開放ボタン操作時に約3秒間表示されます（通常は表示されません）。カウンター回数を確認したい場合は、表示ボタンを押してください。液晶カウンターが点滅している場合は、設計耐用回数をオーバーしたことをお知らせしています。



●停電時の操作

停電時の操作は、専用の操作用具（チェーンまたはハンドル）を用いて行います。

開閉機の種類によっては、操作用具がオプションとなっているため設置していない場合があります。その場合は最寄りの三和シャッター工業（株）営業所またはFTS（修理連絡先）へ連絡してください。

警告

「緊急必要時以外」は停電復帰を待ってから通常操作を行ってください。やむをえず操作する場合は、下記の事項を確認してください。

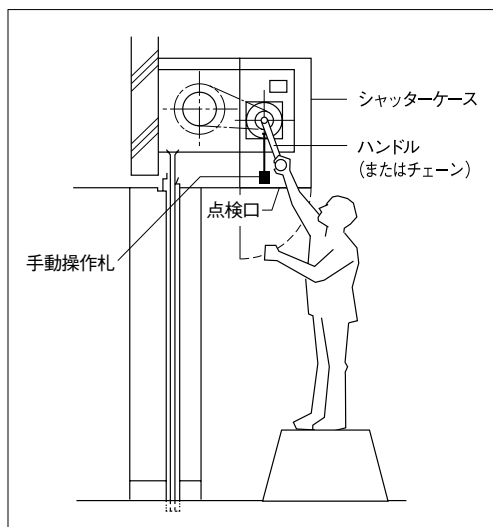
- 高い所での作業は、足場の安全を確保してから行ってください。
- シャッター開閉中は、人や車の出入りを絶対におやめください。はさまれると危険です。
- 操作中に「停電復帰」のおそれがあります。事前に制御盤のブレーカまたはシャッターの電源を切ってください。
- 点検口を開ける際、チェーンやハンドルが落下してくることがありますので注意して開けてください。

お 願 い

- チェーン操作時、ブレーキ解放ひもが垂れ下がっているとチェーンガイドに巻き込むおそれがあります。
- 操作用具（チェーンまたはハンドル）により開放するときは、全開近くになりましたらそれ以上開放しないでください。座板がまぐさにあたり、まぐさが損壊するおそれがあります。
- 操作終了後は操作用具（チェーンまたはハンドル）をもとの状態に戻してください。ハンドル式の場合は、操作後、開閉機にハンドルが付いたままになっていないことを確認してください。チェーン式の場合は、チェーン収納袋に入れてください。

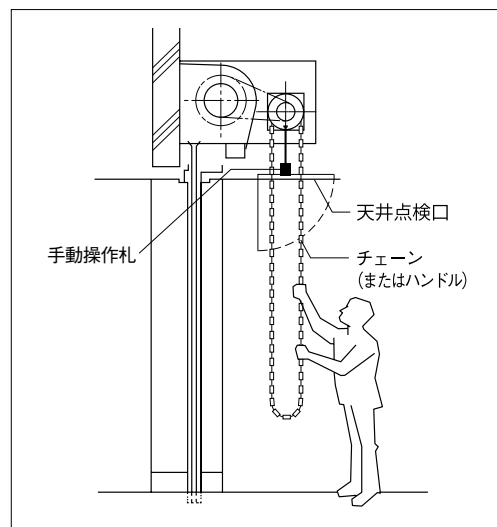
開閉機がシャッターケース内の場合

- シャッターケースの点検口を開けてください。
- 操作用具（チェーンまたはハンドル）をセットして操作を行ってください。



開閉機が天井内の場合

- 天井の点検口を開けてください。
- 操作用具（チェーンまたはハンドル）をセットして操作を行ってください。



※ブレーキ解放ひもの先端に「手動操作札」が付いていますので、それに基づいて操作してください。

■停電時の操作方法是、開閉機の種類によって異なります。
「手動操作札」の左上に書かれている型式を確認してください。

型 式	操作方法
SG13 SG(H)15~75 SGH100	SG開閉機の場合(9ページ)
SFE150、220	SFE開閉機の場合(10ページ)

SG13
SG(H)15~75
SGH100

手動操作

シャッターを上げるとき(チェーン式)

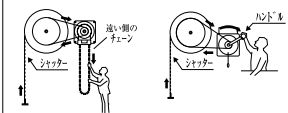
- ・シャッターから近い側のチェーンを引いて下さい。
- (注)シャッターに近い側のチェーンを引いてもロックしますので、引かないで下さい。(故障の原因になります。)
- (注)シャッターが開放されたら、それ以上無理にチェーンを引かないで下さい。(故障の原因になります。)

シャッターを上げるとき(ハンドル式)

- ・ハンドルを開閉機の軸に止まるまで差し込んで下さい。
- ・ハンドルを回して下さい。
- ・ハンドルを回す方向は、ハンドル側から見てシャッターが左側にある時(下図の時)は時計方向、右側にある時は反時計方向に回して下さい。シャッターは上がります。
- (注)ハンドルを反対方向に回してもロックしますので無理に回さないで下さい。(故障の原因になります。)
- (注)シャッターが開放されたら、それ以上無理にハンドルを回さないで下さい。(故障の原因になります。)

【後作業】ハンドル式の場合

- ・上げ終わったら必ずハンドルを軸からはずし、開閉機付属のハンドル取付台に収納して下さい。



手動操作札 (例)

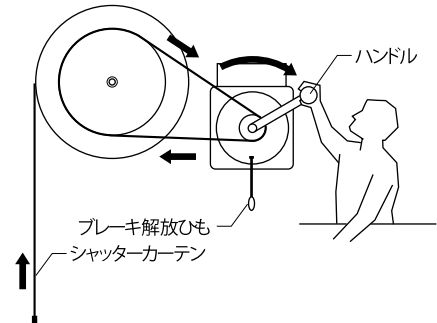
■SG開閉機の場合

操作には、チェーン式とハンドル式があります。開閉機に設置されている方式に基づいて操作してください。

ハンドル式の操作方法

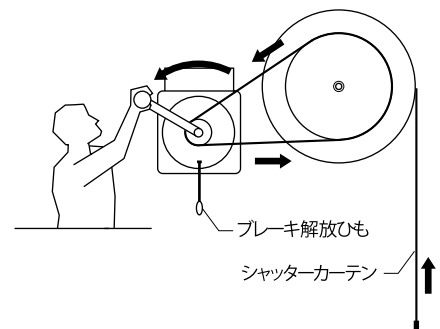
●シャッターを開放するとき

- ①ハンドルを開閉機の軸に止まるまで差し込んでください。
- ②ハンドルを回してください。ハンドルを回す方向は、ハンドル側からみてシャッターが左側にあるときは、時計方向、右側にあるときは、反時計方向に回してください。シャッターが開放していきます。
- ③シャッターが上限位置(シャッターケース下面や天井面)まで開放されたら、それ以上ハンドルを回さないでください。故障の原因になります。
- ④開放操作が終了したら、必ずハンドルを軸から外してください。外したハンドルは開閉機よこにハンドルかけがありますので掛けてください。



●シャッターを閉鎖するとき

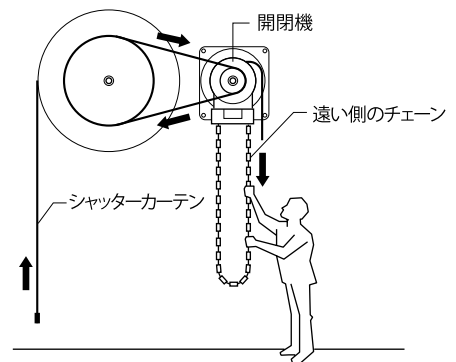
- ①シャッターの下に障害物のないことを確認してください。
- ②開閉機にハンドルが付いていないことを確認してください。ハンドルが付いているときは必ず軸から外し、開閉機よこのハンドルかけに掛けてください。付けたままでシャッターを下ろすと、振動によりハンドルが落下するおそれがあります。
- ③ブレーキ解放ひもを引くと高速でシャッターが閉まるので解放ひもは寸動で操作してください。解放ひもを放すとシャッターは停止します。
- ④シャッターが床面に接触したら、ブレーキ解放ひもを放してください。下げすぎは故障の原因になります。



チェーン式の操作方法

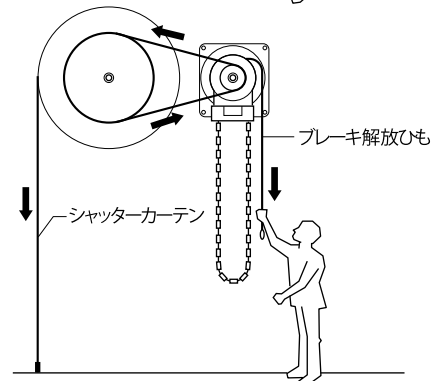
●シャッターを開放するとき

- ①シャッターから遠い側のチェーンを引いてください。シャッターが開放していきます。
- ②シャッターが上限位置(シャッターケース下面や天井面)まで開放されたら、それ以上チェーンを引かないでください。故障の原因になります。
- ③チェーンをチェーン収納袋に入れてください。



●シャッターを閉鎖するとき

- ①シャッターの下に障害物のないことを確認してください。
- ②ブレーキ解放ひもを引くと高速でシャッターが閉まるので解放ひもは寸動で操作してください。解放ひもを放すとシャッターは停止します。
- ③シャッターが床面に接触したら、ブレーキ解放ひもを放してください。下げすぎは故障の原因になります。



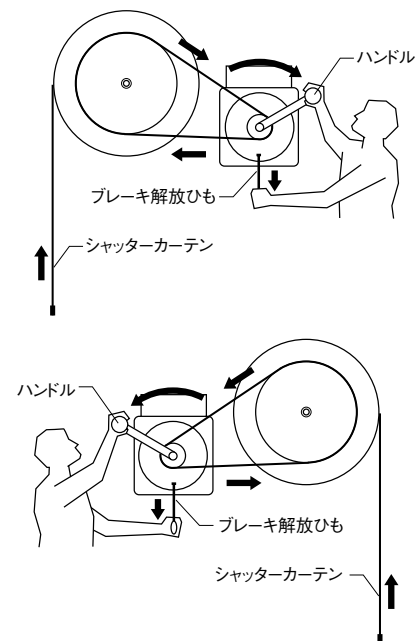
■SFE開閉機の場合

操作には、チェーン式とハンドル式があります。開閉機に設置されている方式に基づいて操作してください。

ハンドル式の操作方法

●シャッターを開放するとき

- ①ハンドルを開閉機の軸に止まるまで差し込んでください。
- ②ハンドルが回転しないようにしっかりもって、ブレーキ解放ひもを引きます。
- ③ブレーキ解放ひもを引いたままハンドルを回してください。ハンドルを回す方向は、ハンドル側からみてシャッターが左側にあるときは、時計方向、右側にあるときは、反時計方向に回してください。
- ④ハンドルをもったまま、ブレーキ解放ひもから手を放します。ブレーキ解放ひもを引いたままハンドルから手を放すとハンドルが逆回りして危険です。手を放すときは必ずブレーキ解放ひもを先に放してください。
- ⑤ハンドルから手を放します。シャッターがシャッターケース下面や天井面より10cmくらい下まで開放されたら、それ以上ハンドルを回さないでください。故障の原因になります。
- ⑥開放操作が終了したら、必ず軸からハンドルを外してください。外したハンドルは開閉機よこにハンドルかけがありますので掛けてください。



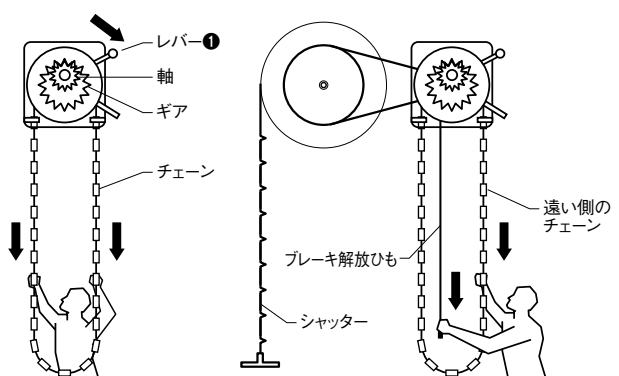
●シャッターを閉鎖するとき

- ①シャッターの下に障害物のないことを確認してください。
- ②開閉機にハンドルが付いていないことを確認してください。ハンドルが付いているときは必ず軸から外し、開閉機よこのハンドルかけに掛けてください。付けたままシャッターを下ろすと、振動によりハンドルが落下するおそれがあります。
- ③ブレーキ解放ひもを引くと高速でシャッターが閉まるので解放ひもは寸動で操作してください。解放ひもを放すとシャッターは停止します。
- ④シャッターが床面に接触したら、ブレーキ解放ひもを放してください。下げすぎは故障の原因になります。

チェーン式の操作方法

●シャッターを開放するとき

- ①レバー①を下に下げ(または両側のチェーンを持って両方同時に下に引き)開閉機の軸とホイールのギアを噛み合わせてください。
- ②シャッターから遠い側のチェーンを持って、ブレーキ解放ひもを引きます。
- ③ブレーキ解放ひもを引いたままシャッターから遠い側のチェーンを引いてください。シャッターが開放していきます。
- ④チェーンをもったまま、ブレーキ解放ひもから手を放します。ブレーキ解放ひもを引いたままチェーンから手を放すとホイールが逆回りして危険です。手を放すときは必ずブレーキ解放ひもを先に放してください。
- ⑤チェーンから手を放します。シャッターがシャッターケース下面や天井面より10cmくらい下まで開放されたら、それ以上チェーンを引かないでください。故障の原因になります。



●シャッターを閉鎖するとき

- ①シャッターの下に障害物のないことを確認してください。
- ②開閉機の軸とホイールのギアが噛み合っていないことを確認してください。噛み合っているときはレバー①を上上げるかレバー②を引くかして、必ず軸とギアを放してください。噛み合ったままシャッターを下ろすとホイールも回転し危険です。また故障の原因になります。
- ③ブレーキ解放ひもを引くと高速でシャッターが閉まるので解放ひもは寸動で操作してください。解放ひもを放すとシャッターは停止します。
- ④シャッターが床面に接触したら、ブレーキ解放ひもを放してください。下げすぎは故障の原因になります。

